

日本ポリアミン学会第14回（2022年度）評議員会議事録

日時：2023年1月27日（金）12:15～13:25

場所：岡山大学50周年記念館2階小会議室

出席者：五十嵐一衛、大島泰郎、大澤仲昭、岡孝己、柏木敬子、河合剛太、川喜田正夫、早田邦康、松藤千弥、鈴木秀之、村井法之、藤原伸介、高橋卓、栗原新、大城戸真喜子（事務局会計）

議案1. 事業報告

- 1) 第13回年会を現地開催（担当役員：高橋卓氏 岡山大学）。
- 2) 会員数・会費納入状況（資料1-1～4）
- 3) 2022年度の学会誌の発行
ポリアミン学会誌第9巻1号が、3月中に発刊予定。

議案1が承認された。

議案2. 会計報告

- 1) 2021年度決算および監査報告（資料2-1～3）
- 2) 2022年度執行状況（資料2-1）
- 3) 2023年度予算（資料2-1、2-4～6）

議案2が承認された。

議案3. 事業計画

- 1) 年会の開催
 - ・第14回（2023年度、2024年1月？）年会（東京）年会担当役員：松本靖彦氏（明治薬科大学）
*2024年度は国際ポリアミン会議2024（神戸）開催のため年会は行わない。
 - ・第15回（2025年度）年会（神奈川）年会担当役員：安元剛氏（北里大学）
- 2) 国際会議の開催
ポリアミン国際会議2024第7回山田シンポジウムが藤原伸介氏（関西学院大）を組織委員長として神戸で開催予定。藤原先生から準備状況の説明があった。
- 3) 広報活動
 - ・学会誌の発行（1～2回/年予定）
 - ・学会ホームページの随時アップデート

議案3が承認された。

議案4. 登録変更・休会に関する会則の追加

登録変更・休会に関する会則が存在しないので、新たに第6条に追加を提案された。

議案4が承認された。

議案5. 名誉会員規程について

本学会の規定第4条4において「名誉会員は、本会に対して特に功労があった者で、評議員会の推薦を経て総会の議決により決定する。」と定められているが、その細

則は作成されていない。

2021年1月の評議員会以降、名誉会員の推薦について評議員会および企画運営委員会で検討を開始した。候補者リストおよび名誉会員規程案を作成したが名誉会員の最終的な選出で意見が分かれていた。本年度の評議員会・総会で決議したい。

名誉会員規程案を名誉会員規程とすることとした。

名誉会員は、日本ポリアミン学会設立後の学会員から選出され、その選出は名誉会員規程に従うものとした。

議案 6. 外国人特別会員、名誉会員の継続期間と会員数の管理について

現在外国人特別会員に対して、会員に選出された後の継続の意思確認は事務局から行っていない。また今後選出される名誉会員については、将来連絡をとりづらくなる可能性が想定される。これらの会員に関する会員数へのカウントについて決まり事が必要である。以下は提案である。

外国人特別会員については企画運営委員会が3年ごとに意思確認および会員数の管理を行い、事務局に報告する。

名誉会員については、名誉会員に選出された後10年間会員数にカウントするが、事務局に寄せられる消息等は適宜反映させる。ただし名誉会員の称号は継続。

上記の提案通り外国人特別会員、名誉会員の継続期間と意思の確認を行うこととした。

議案 7. 学会の倫理綱領の作成について

日本ポリアミン学会 倫理綱領案を作成いたしました。評議員、および会員に、倫理綱領案を開示し、半年ほどの意見募集期間を設け、ブラッシュアップし、評議員会・総会の承認後正式な倫理綱領案としたい。

作成された倫理綱領案をベースに今後評議員および会員にご意見を頂きブラッシュアップした倫理綱領を作成し、評議員会・総会の承認を経て正式な倫理綱領とすることとした。

議案 8. 利益相反規定の作成について

作成にあたり評議員の中で3~5名担当できないか。

それが難しい場合、

評議員2名、企画運営委員2名、一般会員3名程度で利益相反委員会を設置し作成する。

評議員2名、企画運営委員2名、一般会員3名程度で利益相反委員会を設置し作成を開始することとした。これらの委員の選出は、学会員の自薦および他薦で選出し評議員会で承認することとした。

その他

第14回総会議長および副議長の選出

議長：千葉工業学大 根本直樹氏

副議長：近畿大学大学 児玉成美氏

上記2名を総会の議長および副議長に推薦することとした。

以上